

住宅性能の最先端を目指す、細田工務店の“グランネオ”クオリティ。



夏も冬も心地よい室温を保つ快適に暮らせる住まい

断熱性能[UA値0.46・断熱等性能等級6]

Thermal Insulation Performance & UA Value

外の暑さや寒さを家の中に伝えにくくする「断熱性能」。

その高さを示すのが「UA値」で、数字が小さいほど性能が高いことを意味します。

グランネオは0.46という優れた数値を達成し、断熱等最高等級6に対応。

冷暖房効率が良くなり、快適さと光熱費の両方でメリットがあります。

■ZEHレベルの高い断熱性能。高断熱UA値0.46。

UA値(外皮平均熱貫流率)とは、住宅の断熱性能を表す数値です。住宅の内部で生じた熱は、壁や窓、屋根、床といった“外皮”を通して外に逃げていきます。UA値は、その「熱の逃げやすさ」を数値化したもの。値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性能が高い住宅であることを意味します。逆に値が大きいと、熱が逃げやすく断熱性能が低いということになります。

□地域区分と主な地域

(参考)国土交通省「住宅における外皮性能」「地域区分新旧表」

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
外皮平均熱貫流率 UA[W/(㎡・K)]	0.46		0.56	0.75	0.87			－
地域区分	1	2	3			4		
主な地域	北海道		北海道・東北			東北・甲信越		東北・中部・関東
地域区分	5	6	7			8		
主な地域	関東・東海・近畿・中国		東海・近畿・四国・中国			九州		沖縄県

UA値は地域ごとに基準値が定められており、左表はそれを示しています。「UA値0.46」は、北海道・東北地域で定められているレベルの断熱性能であることを示しています。

POINT

「グランネオ」のUA値は0.46。これは、厳しい寒さで知られる北海道や東北などの寒冷地域で求められるレベルの断熱性能です。通常、東京都全域が属する地域区分6ではUA値0.87以下が基準ですが、それを大きく上回る性能を実現しているのが「グランネオ」の断熱性能のすごさ。東京都にありながら、寒冷地と同等の断熱性を備えているため、冷暖房の効率が高く、快適性と省エネを両立できる住まいです。

■快適性と省エネを両立する「断熱等性能等級6」。

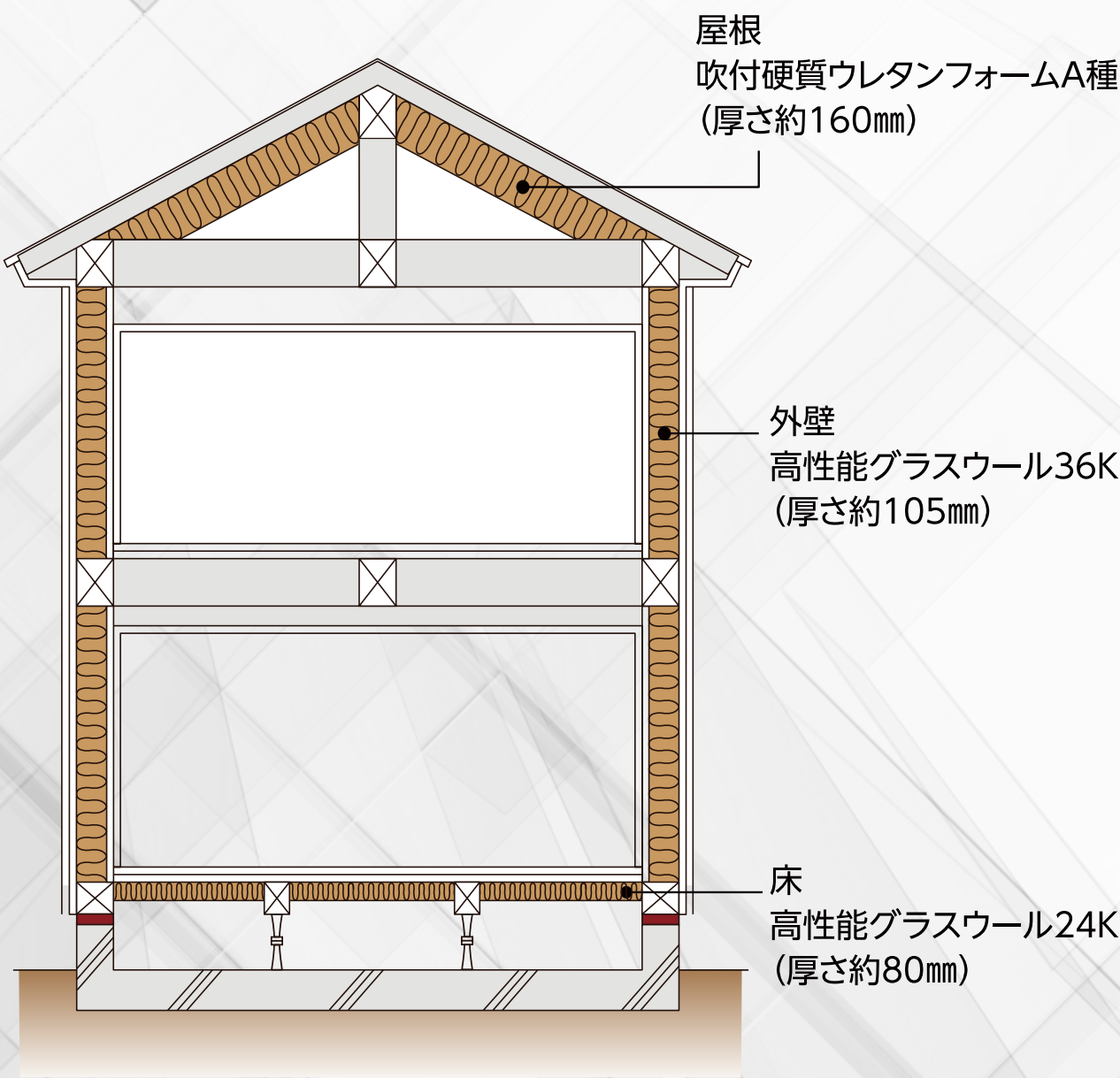
断熱等性能等級とは、住宅がどれだけ外気の影響を受けにくいかを示す国の基準で、「グランネオ」では等級の6を取得。等級6は現行の基準の中でも極めて高い水準です。住宅を断熱材等で包み込むことにより、高い水準の断熱性を実現します。真夏の暑さや真冬の寒さを家の中に伝えにくく、冷暖房の効率を大きく高め、結果として、四季を通じて快適に暮らせるだけでなく、光熱費の削減にもつながります。

◎掃き出し窓はトリプルガラス仕様

熱の出入りが一番多い窓には、Low-Eガラスを採用し、中空層には熱伝導率が低いアルゴンガスを封入。さらに中間ガラスに特殊薄板ガラスを採用して断熱性と軽さを両立しました。また、窓フレームはアルミの1/1000の熱伝導率の樹脂を採用。フレーム内は熱を通しにくい空気層をたくさん設けた多層ホロー構造にするなどの工夫で断熱性を高めました。



◎見えない部分まで妥協しない徹底した気密対策



イメージイラスト
(数値については誤差が生じる場合があります。)

POINT

「グランネオは」、国の断熱性能基準で最新かつ極めて高い等級6を取得。その背景には、掃き出し窓に採用したトリプルガラスの高断熱サッシ、屋根・壁・床に隙間なく施された高性能断熱材、そしてコンセントや配管まわりまで徹底した気密処理など、一つひとつの仕様と施工へのこだわりがあります。こうした配慮によって実現した等級6の断熱性能が、夏も冬も快適な暮らしを守り、光熱費の大幅な削減にもつながります。